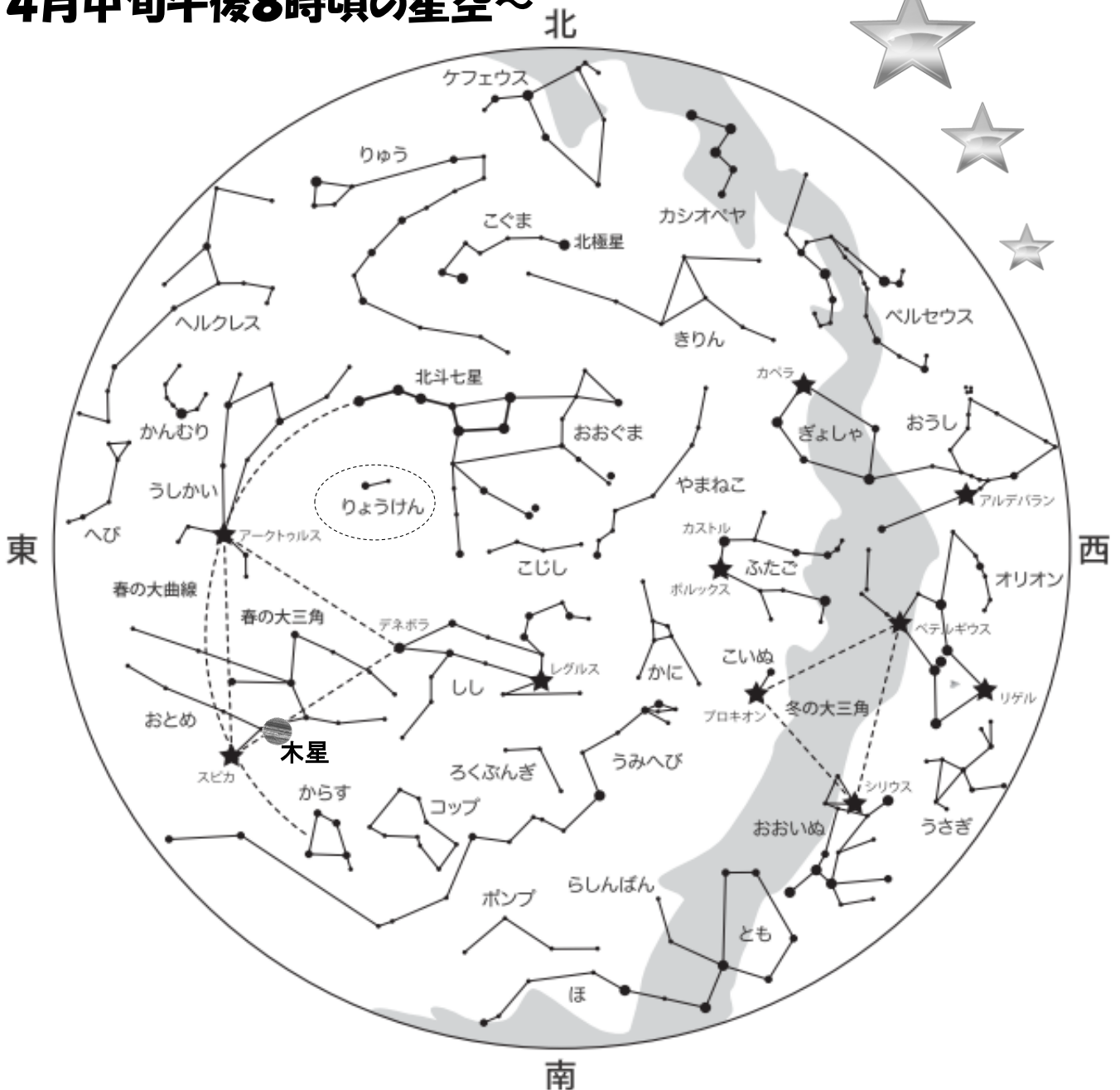


松江市立天文台～4月の天文教室～

平成29年4月26日

4月中旬午後8時頃の星空～



4月中旬を過ぎると日が暮れるのが遅くなっているのが実感できます。暗くなった空では、冬の星座が次々と西の空に沈んでゆき、しし座、おとめ座、うしかい座など春を代表する星座が姿を現してきます。今夜は、木星、りょうけん座の球状星団メシエ3や、 α 星のゴルカカリなどを観察します。月は太陽とほぼ同時に沈むため、残念ながら今夜は観察できません。

4月中旬午後8時頃の星空です。
木星の位置は4月26日現在のものです。
各天体の見かけの大きさは強調してあります。
この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

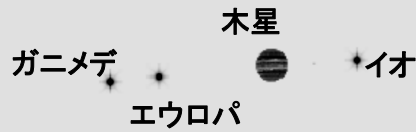
木星

木星は、太陽系最大の惑星で、その直径は地球の約11倍、質量は約318倍もあります。

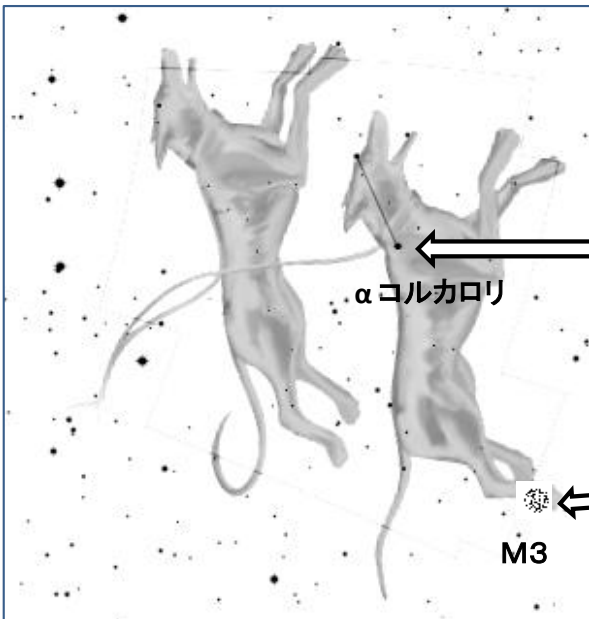
小型の天体望遠鏡でも表面のしま模様や、4大衛星(ガリレオ衛星)を観察できます。

4大衛星のひとつイオでは、火山活動が確認されるなど、今でも新しい発見が続いています。

4月26日の木星とガリレオ衛星



りょうけん座

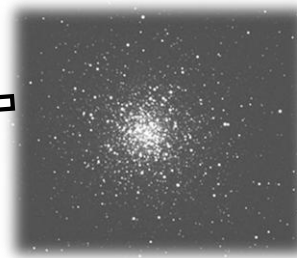


りょうけん座は、北斗七星の南にある小さな星座で、大熊(おおぐま座)を追う男(うしかい座)が連れた2匹の犬として描かれています。

古代からの星座ではなく、17世紀のポーランドの天文学者ヘベリウスが創設した星座です。

りょうけん座の α 星は、コルカロリという名前があります。この星を天体望遠鏡で拡大すると二つの星に分かれて見えます。

色の対比が美しく、明るい星が黄色に、暗い星が紫色に見えると言われますが、皆さんは何色に見えますか？



M(メシエ)3は、りょうけん座にある代表的な球状星団のひとつです。

空の暗い場所では、双眼鏡でも見つける事ができ、天体望遠鏡ではたくさんの星の集まりであることが分かります。

夏には土星が見ごろに



美しいリングを持つ土星は、現在いて座にあり、夜半過ぎに東の空に昇ってきます。

先日、探査機「カッシーニ」による観測で、土星の衛星「エンケラドス」に生命のエネルギー源となりうる水素ガスが存在するらしいことが明らかになりました。

地球以外の天体に生命が存在するかも知れないと思うと、土星も違って見えるかもしれませんね。

資料のデータは天文年鑑、アストロアーツから引用しています。
使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。
また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

次回の天文教室

開催日 5月31日(水) 20時から21時まで
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会